

# 会議結果報告書

1	会議名	戸別収集実験事業に関する説明会（浜竹四丁目自治会）
2	日時	令和7年2月2日（日）10:00～11:00
3	場所	兵金山会館
4	出席者	（資源循環課）森岡課長補佐、八幡主事 （環境事業センター）永島所長補佐、金子技能労務主査、藤原技能労務主任 （茅ヶ崎南地区）参加人数：25人
5	内容	<p>資料に基づき、戸別収集実験事業に関する説明会を実施した。主な質問と意見は次のとおりであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 住まいが「開発により専用ステーションが設置されている戸建て住宅」に該当しており、実験期間中は、専用ステーションには出せず、戸別に出す必要があり、それに対して、ネットやポリバケツなどの購入を検討している。実験期間後に、これまでのステーション収集に戻す可能性があるのであれば、勿体ないと感じるが、いかがか。</li> <li>→ 「開発により専用ステーションが設置されている戸建て住宅」においては、市が定める開発の基準に基づき専用ステーションを設けていただいているが、それ以外の戸建て住宅においても、そのステーションを利用している方々専用で使用していただいているものがあるため、戸別での収集にご協力いただきたい。また、実験期間後のごみ収集の方法は、実験の検証結果によって判断させていただくため、鳥獣対策の手法については、まずはご自宅にあるものなどで対応していただくなど、できる限りの対応をお願いしたい。</li> <li>● 既に浜竹四丁目内の収集ルートの作成をされていると思うが、問題点や課題点があれば、具体的に教えていただきたい。</li> <li>→ 戸建て住宅において、2つの道路に面しており、どちらの道路に出すか分からないという事例があり、改めて現場確認する予定である。また、試走をしている中で、車や自転車、人の通行状況も併せて確認しており、これまで浜竹四丁目は朝一番に収集していたが、場所によっては16時頃の収集になることもあるため、ご理解いただきたい。</li> <li>● 先行市の事例を把握しているかと思うが、夏場の収集において、収集が夕方になることで、においが漂ってクレームになったという事例を聞いているか。</li> <li>→ そのような事例は聞いていないが、排出場所が分からず収集漏れがあり、その対応を夜遅くまで行なったという事例を聞いている。排出場所は、できる限り道路からわかりやすい場所としていただきたい。</li> <li>● 実験の趣旨は理解しているが、住まいが「開発により専用ステーションが設置されている戸建て住宅」に該当しており、実験期間以降、専用ステーションに出すということも可能か。</li> <li>→ 実験期間中においては、戸別収集にご協力いただきたいと考えているが、実験期</li> </ul>

間以降の進め方に応じて、専用ステーションに出していただくということも考えている。

- 戸別収集を実施した場合、ごみ収集に要する費用はどのように変わるか。

→ 燃やせるごみを対象に市域全域で戸別収集を実施した場合、追加費用として約4億円かかると試算をしている。現状の収集体制では対応できないエリアを収集するための車両台数や人員などに対する追加費用が必要となる。なお、今回の実験事業を実施するためには、約6,000万円の費用がかかると積算している。

- 収集業務は、民間事業者へ委託して実施するか。

→ 市の職員で実施するエリアと民間事業者が実施するエリアがある。

- 茅ヶ崎市の財政状況は、この先大丈夫なのか。

→ 市の事業は、取り組みを強化していくものもあれば、縮小していくものもあり、その中で、適切に予算が配分されるように調整がなされているため、ご安心いただきたい。

- 令和7年度に実施するアンケート結果で戸別収集に対するニーズが割れた時に、どの項目を重視して、どのように判断するか。

→ 実験期間後の進め方においては、戸別収集に対するニーズのほか、その他の影響や効果を分析し、総合的に判断する。その判断は担当課で行い、茅ヶ崎市としてどのように進めていくか庁内で協議を重ね決定する。

- 浜竹4丁目は収集拠点である環境事業センターから東に遠い場所ということであったが、西に遠い場所を対象とする必要はないか。

→ 環境事業センターが茅ヶ崎市の西側にあるため、その付近での実地経験は必要ないと考えている。

- 現在、燃やせるごみの集積場所で使用している鳥獣対策のネットがあるのだが、そのネットは撤去しなければならないか、そのまま置いておくことも可能か。

→ 燃やせるごみの集積場所では、燃やせるごみを収集しないため、集積場所に設置されているネットやネットボックス等については、その他の品目を収集している集積場所で使用していただくなど、集積場所の利用者の皆さんでご対応いただきたい。なお、置いておくことも可能である。

- 現在、燃やせるごみの集積場所で使用している鳥獣対策用のネットを今後使用しない場合、ごみとして捨ててしまっても良いか。

→ 廃棄していただいても問題はないが、戸別収集による影響や効果が確認できなかった場合においては、ステーション収集に戻すということも考えているため、今後のことも考慮した上で、ご判断いただきたい。

- 収集車両から放送されるメロディーをもう少し大きくしてもらいたい。その音がきっかけとなり、ごみ出しがされ、出し忘れがなくなるのではないかと思う。
- 音量については、音量を大きくしてほしいというご意見もいただくが、音量が大きいという苦情もいただいている状況である。このようなご意見をいただいている中で音量を調節し、現在の音量があることをご理解いただきたい。
  
- 自治会の防犯係として通学路の安全確保につとめているのだが、収集開始が朝 8 時 30 分からということであれば、児童の通学の時間と重ならないので良いのだが、収集が夕方になると、下校時間に重なり、加えてこの辺のエリアは道が細くいりくんでいるところもあるため、収集時間が遅くなってしまうても構わないので、引き続き安全に配慮して収集業務を行なっていただきたい。
- 現在、収集ルート設計を進めているところであるが、下校時間に児童が多く通行する道路は、朝早い時間に収集しようなど検討をしながら行なっていることである。また、パッカー車に「こども 110 番！」と掲示し収集業務を行なっているため、苦情をいただかないよう安全に配慮して行なっていく。
  
- 収集時において収集車両が路上で待機すれば、周辺の道路で渋滞が発生する可能性があるが、何か対策を講じる予定はあるか。
- 運転手が通行の支障がないような場所に一時的に停車させていただくこともあるかと思うが、もしそのような時に通行上の問題があれば速やかに皆さまの通行を優先して移動させることを考えている。また、戸別収集を実施してみて、交通上の問題があったかをアンケート調査などでご意見をいただけるようにしていきたいと考えているため、どう感じたかご意見をいただきたい。
  
- 戸建て住宅を購入する際に、ごみ集積場所がある土地を購入したのだが、その辺どうなのか。
- 実験事業の実施期間においては、燃やせるごみにおいては各戸での収集にご協力をいただきたい。その他の品目においては、これまでどおり出していただきたい。
  
- 現在、ネット当番という形でごみ集積場所のネットを回しているのだが、実験期間中はネットが必要なくなり最後の当番の方が保管しておくというのは、気分があまりよくないと思うため、返すと思う。実験期間以降、戸別収集を継続するのであれば問題ないが、ステーション収集に戻すとなった場合、ネットはすぐにいただけるか。また、返す場所はどこか。
- 市からネットの貸与は行っていないため、自治会内もしくはステーションの利用者内で管理していただきたい。

以上